

第24回 経営協議会議事要録

日時 平成20年6月25日(水)13時30分～15時00分
場所 事務局第2会議室
出席者 宮田亮平学長、堀江振一郎理事、玉井賢二理事、
六角鬼丈美術学部長、植田克己音楽学部長、
石田義雄委員、高階秀爾委員、中村胤夫委員、根本二郎委員、
未永壽男会計課長
監事：中島尚正監事、竹内雄也監事
欠席者 海老澤 敏委員、佐々木正峰委員

議事に先立ち、議長から、本年4月に音楽学部長の交代に伴い、植田克己音楽学部長(川井 學前音楽学部長の後任)が委員に就任した旨の紹介があった。
また、堀江理事から、事務職員の異動について報告があった。

議題

1. 平成21年度概算要求に係る重点事項の概要について
議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 平成19年度財務諸表(案)について
議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
3. 平成19事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間(平成16～19事業年度)に係る業務の実績に関する報告書(案)について
議長から標記のことについて提案があり、総務課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
4. 国立大学法人東京芸術大学の中期計画の変更について
議長から標記のことについて提案があり、総務課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
5. その他
(主な意見)
 - ・人間性が疎外されている時代だからこそ教養教育「美育」を充実させ、感性が豊かな人間を育成することが大切である。
 - ・市民社会との交流を双方向にするため、社会に対する発信が必要である。
 - ・イノベーションの時代であるから、芸術は科学技術と共に推進することが必要である。
 - ・創立120周年事業のDVDを見て、今までの芸大のイメージと違い、地域連携や国際

交流等で社会に打って出ていることが感じられる。

- ・環境の保護の観点から、大学でも企業と連携した対応やエコの配慮が必要である。

報告及び連絡事項

- 1．東京藝術大学創立120周年記念事業募金収入支出見込額について
総務課長から、資料に基づき報告があった。
- 2．平成19年度寄附金受入状況（平成20年1月～3月入金分）について
会計課長から、資料に基づき報告があった。
- 3．外部資金の導入状況について
社会連携推進課長から、資料に基づき報告があった。
- 4．「戦略的大学連携支援事業」の申請について
学生支援課長から、資料に基づき報告があった。
- 5．平成21年度国立大学法人施設整備費補助事業・営繕事業について
施設課長から、資料に基づき報告があった。
- 6．その他
大学美術館事務長から、別添配布の展覧会チラシに基づき「狩野芳崖」展について報告があった。

議長から、120周年事業を推進した池田学長特命が今月末で任期満了となる旨の紹介があり、池田学長特命から挨拶と謝意が述べられた。